

令和6年度 吉里地区福祉活動計画

重点課題

たくさんの方にサロンに参加してもらえるようにする。

事業名

サロン吉里の充実

地域の課題（背景）

- ・参加者、ボランティアが固定化されつつある。
- ・地域が一つになって何かを創り上げる様な活動が少なく、人との関係が希薄になってきている。
- ・参加者が高齢化し、施設入所などの理由で減少し参加意欲が低下してきている。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ①参加者について
 - ・自治会ごとでサロン当番の割り当てを決める。
 - ・集う会等計画した事業において参加者の送迎を検討し、参加しやすい環境を整える。
 - ・集会所等の身近な場に集える機会を作る。
- ②ボランティアについて
 - ・サロン通信でボランティアの募集を継続的に行う。
 - ・ボランティアの活動内容をサロン通信で具体的に紹介する。
- ③活動内容の充実について
 - ・海津小学校からのクラブ活動の講師派遣要請があればいままでどおり応える。
 - ・吉里小学校は閉校してしまったが、地区内の児童との交流活動を検討する。

自助(自分でできること)

- ・積極的にサロンに参加する。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・出前講座の依頼。
- ・先進地等の情報提供。

令和6年度 吉里地区福祉活動計画

重点課題

地域住民で高齢者への声かけをする

事業名

高齢者への声かけ、見守り活動

地域の課題（背景）

- ・地区社協役員だけでの見守りには、限界がある。
- ・高齢化が進み、人と会うことがおっくうになり、会話をする機会が少なくなっている。
- ・サロンに行く移動手段が少ない。
- ・コロナの影響で家に閉じこもりがちになっている。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ①サロンに参加できるように働きかける。
 - ・サロン通信に活動写真を掲載し、サロンの魅力を伝える。
- ②高齢者への見守りや声かけをする。
 - ・各自治会と連携し、見守り体制の充実を図る。
 - ・高齢者に声かけを行い、サロンで活躍できる場をつくる。
 - ・役員だけではなく、地域全体で取り組んでいけるよう協力を求める。
 - ・自治会で集会所などを利用して身近な通いの場をつくる。

自助(自分でできること)

- ・近隣高齢者等に声をかける。

公助（行政や社協に依頼すること）